

お知らせします

病院 経営改革プランの進捗状況

水道・下水道 中期経営計画の達成状況

病院事業（市立病院）と、水道・下水道事業では、将来にわたり必要なサービスの安定的な提供と、厳しい環境の変化にも対応できるよう、経営の改善を推進するため、それぞれ「病院経営改革プラン」や「中期経営計画」を策定しています。

市立室蘭総合病院

病院事業（市立病院）は平成21年度の進捗状況について、水道・下水道事業は5年間（平成17～21年度）の経営計画の達成状況について、お知らせします。



病院経営改革プラン

《詳細》市立室蘭総合病院総務課 ☎25-3111
<http://www.city.muroran.lg.jp/main/org8400/>

平成21年度にこれまでの「中期経営計画」から「経営改革プラン」（平成21～24年度）へと引き継ぎ、さらに平成22年度には、みなと診療所（旧船員保険診療所）開設に伴い、同プランの見直しを行いました。平成21年度の決算は経常収支比率は96.14%、不良債務額は計画の約8億7,100万円に対し、約7億2,700万円となりました。なお改革プランと評価委員会による点検評価報告は病院ホームページに掲載しています。

収支の状況

(単位：百万円)

区分	平成21年度		差(B-A)	
	計画 A	決算 B		
収 益 的 収 支	経常収益	9,989	9,903	△ 86
	医業収益	9,295	9,054	△ 241
	医業外収益	694	849	155
	経常費用	10,407	10,301	△ 106
	医業費用	9,815	9,728	△ 87
	医業外費用	592	573	△ 19
	経常損益	△ 418	△ 398	20
	特別利益	14	19	5
	特別損失	18	15	△ 3
	純損益	△ 422	△ 394	28
資 本 的 収 支	収入計	690	690	0
	企業債	220	219	△ 1
	他会計負担金等	470	471	1
	支出計	968	1,101	133
	建設改良費	318	451	133
	企業債償還金	650	650	0
差引不足額	278	411	133	

経営指標

項目	平成21年度		差(B-A)
	計画 A	決算 B	
経常収支比率	95.99%	96.14%	0.15%
医業収支比率	94.71%	93.07%	△ 1.64%
職員給与費比率	53.52%	54.21%	0.69%
(退職金を除く職員給与費比率)	(50.90%)	(50.28%)	(△ 0.62%)
材料費対医業収益比率	27.03%	27.20%	0.17%
不良債務比率	9.37%	8.04%	△ 1.33%
不良債務額(千円)	871,087	727,707	△ 143,380

医療機能に係る数値

項目	平成21年度		差(B-A)
	目標 A	決算 B	
1日平均入院患者数	533人以上	506.0人	△ 27人
1日平均外来患者数	1,150人以上	1,065.4人	△ 85人
臨床研修医受入人数	8人以上	7人	△ 1人

経営指標・財務分析指標比率の説明

経常収支比率

経常費用に対する経常収益の割合を示し、100%以上が健全な経営といえます。

医業収支比率

医業費用に対する医業収益の割合。

職員給与費比率

医業収益に対する職員給与と費の割合。

材料費対医業収益比率

医業収益に対する材料費の割合。

不良債務比率

営業（医業）収益に対する不良債務の割合。

累積欠損金比率

営業収益に対する累積欠損金の割合。

繰入金比率

総収益（収益的収入＋資本的収入）のうち繰入金占める割合。



「中期経営計画（平成17～21年度）」により、経営基盤の強化や施設整備の推進、市民サービスの向上などに努め、経営の改善を推進してきました。今後も皆さまに信頼される事業運営を目指してまいります。
 なお、中期経営計画の詳細は、水道・下水道ホームページに掲載しています。

水道事業

計画では、健全な経営を持続していくため、収入の確保や人件費の削減、施設の休止、事務事業の見直しなどを行い、効率的な経営に努めた結果、計画を上回る成果を上げることができました。

新チマイベツ浄水場



収支の状況

(単位：千円)

区分	平成17～21年度 合計		差 (B-A)	
	計画 A	決算 B		
収益的収支	経常収益	9,539,279	9,566,578	27,299
	うち水道料金	8,763,215	8,807,225	44,010
	うち他会計補助金等	59,972	56,908	△ 3,064
	経常費用	9,440,955	8,851,833	△ 589,122
	うち人件費	3,245,554	2,956,949	△ 288,605
うち物件費	1,283,128	1,173,221	△ 109,907	
経常利益	98,324	714,745	616,421	
資本的収支	収入計	3,332,762	4,132,355	799,593
	うち企業債	3,327,600	3,789,200	461,600
	支出計	7,272,865	7,545,395	272,530
	うち建設改良費	5,806,886	5,162,691	△ 644,195
うち企業債償還金等	1,465,979	1,502,704	36,725	

職員数の削減

項目	平成22年4月1日現在		差 (B-A)
	計画 A	決算 B	
職員数	49人	33人	△ 16人

項目	平成21年度		差 (B-A)
	計画 A	決算 B	
累積資金剰余金	557,108	1,715,854	1,158,746

※累積資金剰余金の増加は、新浄水場の建設費11億3,500万円を平成22年度へ繰り越したことによるものです。

財務分析指標

項目	平成21年度		差 (B-A)
	計画 A	決算 B	
経常収支比率	95.1%	104.3%	9.2%
繰入金比率	0.4%	0.3%	△ 0.1%
職員1人当り営業収益	39,842千円	48,229千円	8,387千円

経費削減等の財政効果

(単位：千円)

区分	平成17～21年度 合計		差 (B-A)	備考
	計画 A	決算 B		
収入 (増加額)	47,485	115,613	68,128	専用水道からの切り替え
支出 (削減額)	373,403	548,572	175,169	職員数、給与等削減、統廃合など
計	420,888	664,185	243,297	

下水道事業

計画では、不良債務の早期解消を図るため、水洗化の促進や施設の廃止・無人化、事務事業の見直しなどを行い、効率的な経営に努めた結果、計画を上回る大幅な不良債務の解消を図ることができました。

収支の状況

(単位：千円)

区分	平成17～21年度 合計		差 (B-A)	
	計画 A	決算 B		
収益的収支	経常収益	12,622,151	12,929,669	307,518
	うち下水道使用料	7,965,611	8,123,992	158,381
	うち他会計補助金等	4,652,414	4,777,919	125,505
	経常費用	11,547,549	10,492,893	△ 1,054,656
	うち人件費	1,399,465	1,213,861	△ 185,604
うち物件費	3,461,878	3,034,273	△ 427,605	
経常利益	1,074,602	2,436,776	1,362,174	
資本的収支	収入計	6,883,149	8,683,594	1,800,445
	うち企業債	3,144,700	4,813,400	1,668,700
	うち他会計補助金等	807,462	809,391	1,929
	支出計	10,422,334	11,604,595	1,182,261
	うち建設改良費	5,744,484	5,465,081	△ 279,403
うち企業債償還金等	4,488,345	5,822,388	1,334,043	

職員数の削減

項目	平成22年4月1日現在		差 (B-A)
	計画 A	決算 B	
職員数	32人	26人	△ 6人

項目	平成21年度		差 (B-A)
	計画 A	決算 B	
不良債務額	5,426,132	3,491,351	△ 1,934,781

財務分析指標

項目	平成21年度		差 (B-A)
	計画 A	決算 B	
経常収支比率	110.0%	134.3%	24.3%
不良債務比率	246.8%	138.5%	△ 108.3%
累積欠損金比率	229.4%	144.7%	△ 84.7%
繰入金比率	28.5%	25.3%	△ 3.2%
職員1人当り営業収益	81,432千円	114,600千円	33,168千円

経費削減等の財政効果

(単位：千円)

区分	平成17～21年度 合計		差 (B-A)	備考
	計画 A	決算 B		
収入 (増加額)	77,195	177,684	100,489	水洗化の促進
支出 (削減額)	179,785	349,472	169,687	職員数、給与等削減、統廃合など
計	256,980	527,156	270,176	